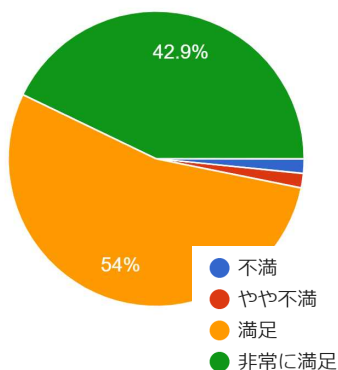




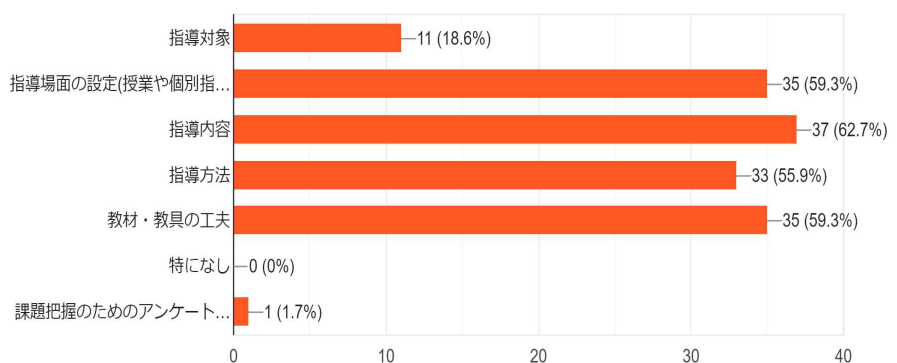
## 養護教育部会の研究に関するアンケート (No.3) 結果

11月10日に開催された第3回研究会では、根白石中学校と幸町中学校のお二人の養護教諭の先生から実践研究発表と、吉成中学校の教頭先生から指導助言をいただきました。先生方の学びを共有させていただくためにアンケートの感想の部分を一部抜粋してご紹介させていただきます。今後の保健指導などにお役立ていただければ幸いです。なお、寄せられた質問への回答については ClassroomCafe405 二号店に投稿されておりますので、そちらも併せて御覧ください。意識や行動変容の部分については、研究のまとめとして研究集録第47号とR6年度に予定されている宮城県学校保健会養護教諭部会総会における発表の際に活用させていただきます。頂戴しました御意見等につきましては、今後の研究の在り方を検討する際の参考にさせていただきます。

### 《第3回研究会の満足度》 (63件)



### 《実践発表を聞いて、今後、保健教育に取り組む際に参考にしたい点》 (59件)



### 《感想(実践発表からの気づきや学び)》

#### (1) お二人の先生の実践発表について

- ・ 生徒と同じ目線に立ち、寄り添いながら、養護教諭としてどんな支援ができるのか考え実践していくことの大切を学んだ。
- ・ アンケートをとり、原因が判明することで、アプローチが変わるため、アンケートの重要性を感じた。
- ・ 保健教育の内容を深めるためには、生徒の健康の実態を様々な視点から把握するべきであると改めて考えさせられた。
- ・ 集団への保健指導の方法や手立てについて悩んでいたため、集団保健指導へのイメージを持つことができた。
- ・ 養護教諭が気づいたことを個別や集団への指導方法を考え実践することの大切さとその工夫を学んだ。
- ・ 基本に立ち返った健康診断事後指導の発表と様々な知識を取り入れた心の健康教育の発表、どちらも目の前の生徒の健康を願い、深く追求された実践だと感じた。勤務校でも、健康課題が山積しており、現在、どのように対応したら一番効果があるか、実践中である。先生方の熱意に触れ、結果を焦らずもう少し追求していこうと思っている。

- ・ 子供たちが今だけでなく、大人になったときにも、心身の健康を自身で管理することができるよう、より一層保健教育に力を入れていきたいと思った。お二人の先生方の実践が大変素晴らしく、今保健室来室の生徒対応でいっぱいになっている私としては、とても貴重で深い学びだった。
- ・ 自校の生徒の健康課題は山ほどあるが、指導を行うには限界があった。しかし、今回お二方の取り組みを聞いて、新しいアプローチの仕方を学ぶことができた。
- ・ 生徒の実態は学校によって異なるため、よく生徒を観察し、それぞれの学校の生徒に合わせた保健指導を展開している所が素晴らしいと感じた。
- ・ 学校の現状をしっかり把握して、養護教諭としての発信力を高める努力が必要だと実感した。
- ・ 愛情と熱意を持って指導していることを共有していただき、日々の執務にもっと丁寧に取り組みたい。
- ・ 生徒の実態をしっかり捉え、必要な指導を的確に行われていて、とても参考になった。
- ・ 日々の何気ない取組についても、ねらいや意図を意識することで、効果的なものにしていきたい。
- ・ 各校での実践を知ることは、一番の研修になると感じる。他の先生方の実践も、ぜひ聞いてみたい。
- ・ 同じ養教の先生方の実践発表が勉強になる。特に、今年度は私自身も中堅養教研があるので、報告書の作り方や発表の仕方が参考になった。
- ・ 養護教諭の「思い」を共有できる研修の場は大切だと改めて感じた。
- ・ 研修会直後は、「自分も何かやらなければ」という気持ちになるので、このような研修会に参加することが出来てよかった。
- ・ 昨年度の実践にプラスして今年度さらに実践していて素晴らしい。
- ・ よく勉強されていることに、とても感心した。掲示物やおたより、参考にさせていただきたい。
- ・ 生徒への思いが詰まった保健指導を実践されていることが刺激になった。
- ・ 養護教諭の仕事が、今まで以上に好きになり、やる気が出てきた。
- ・ 生徒の心身の健康のために、前向きな実践をしている姿が素晴らしい。
- ・ 生徒の心身の健康を真剣に願っているお二人の先生からよい刺激をいただき、私も一層頑張らなければと思った。
- ・ お二人の発表から得た学びを、少しでも生徒や保護者、他の教職員との関わりに生かしていきたい。
- ・ 先生方の実践について、教えていただけることは、非常に勉強になり、有り難い。自分のモチベーション向上にもつながる。
- ・ 先生方の実践を拝見し自分の職務の見直しや反省すべき点が出てきた。

## (2) 幸町中学校の実践発表について

- ・ 個に寄り添い対話に重点を置いた生徒との関わりを意識することが大切であるということ学んだ。
- ・ 健康診断結果を大切に活用しようと思った。
- ・ 受診の再勧告をしても変わらない・・・と今まで諦めることもあったが、その積み重ねが大切であることを実感できた。
- ・ 視力の低下など眼の健康問題や生徒との関わりから気づいたことなど、身近にある健康課題を取り上げて地道に取り組むことの大切さを再確認した。
- ・ 受診勧告と取りまとめで満足してしまっていたが、個別指導をして受診率を上げていると学び、生徒の健康の保持増進のためにも行動しなくてはいけないと感じた。
- ・ 目の健康に関しては、個別に聞き取りをする場面を設定されていて、一斉指導や受診勧告をしつこく作成するだけでなく生徒の表情を見ながら指導できる点が良いなと思った。
- ・ 掲示物や保健だよりも見やすく、様々なアプローチを継続されていることに感服した。単発で終わらせず続けていくことの大切さを再認識させていただいた。

- ・ 「指導教材は探すまでもなく、身近なところにある」と思った。健康診断結果を丁寧に読み取ることで、指導したいこと、した方がいいことがたくさんあるのに、見えぬふり、忙しいふりをしている自分の姿がよく見えてしまった。
- ・ 生徒の意識を変容させるためには生徒自身の健康課題に対する認識や危機感を抱かせることが重要であると感じた。
- ・ 指導しても受診率が上がらないと虚しくなってしまうことがあるが、生徒だけにアプローチするのではなく、保護者やその環境の変容も促していく必要があることがよく分かった。まだまだ自分にもできることがあると感じることができた。
- ・ 自分も受診率の向上は毎年課題だと思っていたのでとても参考になった。粘り強く手立てを変えながら受診率向上を目指していきたい。
- ・ 定期健康診断の実施と受診勧告などの事後措置、健康課題の把握と例年どおりの取組に終始し、評価し改善策を模索するまでには至っていなかったもので、一連の流れをしっかりと実践している馬場先生はすばらしいと思った。やりっぱなしではなく、評価まですることで、新たな改善策が浮かび上がるかもしれないと、振り返りの大切さを実感した。
- ・ 視力再検査だけではなく「眼の健康に関するアンケート」を生徒に記入させることで、視力低下が今後の生活に影響していくということを生徒に意識させることができると思うので、本校でも取り入れたい。
- ・ 個に寄り添い対話に重点を置くという視点、改めて大事にしながら養護教諭という仕事をしていきたい。
- ・ 明瞭、明確な回答。レポート作成に感動した。
- ・ 自分の心身を大切にするとといった視点で実践を継続的に行われていて、実践の目的を明確にすることが大事であると改めて感じた。
- ・ ICT活用が進んでいる中で気になっている目の健康についての実践だったので、改めてできることを進めていこうと思えた。ヘルズビリーフモデルなどの理論から考えられているところが素晴らしいと思った。
- ・ 生徒の個々の健康課題への関心を高める教材の選び方と発信の仕方が参考になった。どちらの発表も実際に授業を受けて体験してみたい内容だった。

### (3) 根白石中学校の実践発表について

- ・ 自分を俯瞰的に見つめることで、問題に向き合うことができると思うので、保健室での個別対応の際に意識して取り入れてみたい。生徒との関わりをお互いに楽しみながら自分のことをじっくり考えるきっかけになったり、生徒だけでなく保護者や先生方にも発信したりと、先生の生活の基盤が見えたように感じた。
- ・ ハートマッスルトレーニングジムの桑原先生の講演を聴き、そこから脳科学について勉強中。今年度は始業式の際に妖怪を紹介したが、今後先生の実践を参考に授業でも実践したい。
- ・ 「生きづらさ妖怪」というキャラクターを使い、子供たちに興味関心を持たせる工夫などとてもよかった。脳科学のことに非常に興味を持った。
- ・ 擬人化(擬妖怪化?)がとても興味深く、楽しくお話を聞かせていただいた。本校の生徒も悩むと視野が狭くなりがちで…、客観的に見るにはもってこいの貴重な教材をお教えいただいた。
- ・ 「受容と共感だけでは限界がある」という感覚にその通りだと思った。ハートマッスルトレーニングジムについて詳しく学んでみたいと思った。
- ・ 心理的なストレスを抱える生徒が多いため、どのような指導方法が適切か迷っているところだったので、今日の実践を知ることができてとても学ぶことが多かった。
- ・ 保健だよりの活用方法が大変参考になった。
- ・ 「ピンチになった時、どんな言葉を使っていますか？」では、ピンチをチャンスにする発想が論理療法と似ていると思った。また、自分の心の中にあるものを「妖怪」と表現しているところも心理療法で使われて

いることと似ていると思った。私はコーチングについて勉強不足であるが、自分の得意なやり方で生徒と接すればいいのかな、と感じた。

- ・ 生徒のメタ認知能力を高めることはこれから社会で生活していく上で必要であると考えさせられた。
- ・ 大変興味深い内容だった。例に挙げられていた、他人からの評価を気にする生徒、他人の価値観を自分の価値観だと勘違いしている生徒など…本校にもたくさんいるなあと思いながら聞いていた。ご自身のやりたい指導を、他の職員にしっかりと周知し、学校全体で取り組まれているのが素晴らしいと思った。
- ・ メタ認知の指導は私自身今まで触れたことがなかった。生徒が興味を引くような教材を用いての実践は掲示や保健だよりも活用できそうだと感じた。
- ・ 保健室コーチングでのご自身の学びを、「保健室での生徒対応に生かす」だけでなく、自校の健康課題解決の為の取組に生かしたり、「生きづらさ妖怪」という共通言語を学校全体に浸透させたりと全体に向けて働きかけているエネルギーの高さが素晴らしいと思った。
- ・ 保健室に来室した生徒への関わり方として、過去は変えられないから「なんで」という理由探しではなく、未来に向けた「次どうしたらいい？」という働きかけが有効という点が印象に残った。これから来室する生徒に未来を意識させる働きかけを心掛けていきたいと思った。
- ・ 職員全体を巻き込み保健室経営を視覚化し、さらに生徒の心に入り込む保健指導の凄さを実感した。
- ・ 妖怪を用いて、自分の置かれている状況を理解しやすく提示しており、その対処方法までしっかりと伝えている点でとても興味深かった。本校に当てはまる事例ばかりで、ぜひ活用し実践してみたいと思った。
- ・ 今までのご経験を活かしてご自身で学んできたことを生徒や先生方に伝えられているところが素晴らしいと思った。私も信念を持って伝えられるよう勉強していきたい。
- ・ 発表者ではあるが、もっと質問が出るかな？とっていたがなくて残念。新しい分野だけど、様々な先生から感心がある分野なんだと改めて感じた。研究発表は研究発表としてとても素敵な会ではあるが、そこからグループトークみたいな発展の時間はとれないでしょうか？もしくはクラスルームでグループトークが可能であるか？できるならば、みんなで意見をシェアしたり、意見を交換し合ったりすると、自分の発見となることがもっと増えると感じた。

#### (4) 指導助言について

- ・ 教頭先生のご助言にあった、実践研究のまとめ方や学習指導要領を読み込むことなどを踏まえて、これからの保健指導へ生かしていきたい。
- ・ 教頭先生の指導助言が大変的確で、発表者の先生の実践の学びを深めることに大変役立った。年次研修のまとめも控えていたので、実践資料のまとめ方について丁寧に教えていただいたことも嬉しかった。養護教諭が管理職となって気付いたことや感じたことを今回フィードバックしてもらえたことも、心に響いた。養護教諭として、自分ができることを大切に、背伸びせず頑張っていきたい。
- ・ 教頭先生は、養護教諭の立場を理解している管理職として心強い存在だと改めて感じた。
- ・ 我々に向けての教頭先生のお話、目指すべき自分の立ち位置を再確認することができとても良かった。
- ・ 教頭先生からのご指導により、恥ずかしいが、実践のまとめ方など分かっていなかったことを知ることができた。また、授業実践をする際には「自分が伝えたいこと」に偏り過ぎることなく、生徒にとって必要で指導すべき内容なのか学習指導要領に基づいているかを留意することが必要であることも知ることができた。なぜその教材を選んだのか、どうしてそれを取り上げたのかについても「なんとなく」ではなく明確に説明できるくらい深掘りし、自分の立場でできることを尽くしていきたい。

アンケート回答へのご協力、ありがとうございました。